



げんきな子 がんばる子 やさしい子

# 園だより

3月号

北区立さくらだこども園  
園長 西澤 尚子

## 人と共に、自分の思いを大切に！

今年度も、最後の1ヶ月となりました。1ヶ月と言っても約2週間で修了式になります。今年度はいろいろな制限が少しずつ無くなっていき、以前のようにしていいことが増えました。けれど、制限があった何年かの間で人との距離感や感じ方が変わったのか、以前なら普通に感じていた電車やバス、室内での人混みが今ではかなりの混雑と感じられ、行動することをためらうことがあります。

さくらだこども園では2月までに全学級が生活発表会をしました。どの学級もその学年らしい友達や保育者との関わりの中で、自分なりの表現をすること、友達と一緒にしてきたことへの楽しさを、喜ぶ姿が見られました。また、年長児が3、4歳児のことを考えて創り、運営した「ゆめのせかいのゆうえんち」では、昨年自分たちがしてもらったことを思いながら、考えを出し合い、相談を重ね、工夫しながら進める様子が見られました。年長児からは「大変だったけれど楽しかった」という声が聞かれました。これらの幼児の姿から、子どもたちは自分の思いや考えをもち、それを表現する楽しさ、人と関わるよさ、喜びを感じられる人に育ってきている、とうれしくなりました。

もう少しで進級、就学する子どもたちは、また新しい人やことにたくさん出会っていきます。心の中に人と関わることをよさと思う気持ちがあれば、新しい環境への期待感、安心感が膨らみ、心配や緊張感を和らげてくれるのではないかと思います。

今、各学年に応じた雛人形作りが進み、園内のあちらこちらに飾られ、園内が華やいでいます。子どもたち一人一人が人形に思いを込め、きれいに着物を着せ、丁寧に顔を描いています。「こうしたい」と力と気持ちを尽くし、「大変さはあったけれどしてよかった」と思える機会を、これからも積み重ねていきたいと考えています。

今年度も、保護者、地域の皆様にご理解と多くのご協力いただき、一年間過ごすことができました。これからも地域の子どものとして育つ子どもたちと、地域の子どものを育てるさくらだこども園を温かく見守っていただければと思います。

### —今月の指導のめあて—

- 〈3歳児〉
  - ・遊びや生活の中で、自分の思ったことを自分なりに表したり、友達の言っていることを聞いたりしながら、一緒に過ごすことを楽しむ。
  - ・大きくなったことに嬉しさを感じ、進級を楽しみにする。
- 〈4歳児〉
  - ・栽培物の生長を喜んだり、季節の歌を歌ったりしながら春を感じる。
  - ・気の合う友達と部分的にイメージを共有しながら遊ぶ中で、自分の思いを言葉で表したり、相手の思いに気持ちを向けたりしていく。
  - ・年長児になることへの期待をもち、自分の身の回りのことやみんなでする活動に進んで取り組もうとする。
- 〈5歳児〉
  - ・学級や学年の友達とのつながりを深め、互いの良さを認め合いながら、生活や遊びを進めていく。
  - ・園生活を振り返る中で自分の成長を感じ、自信をもって行動する。

